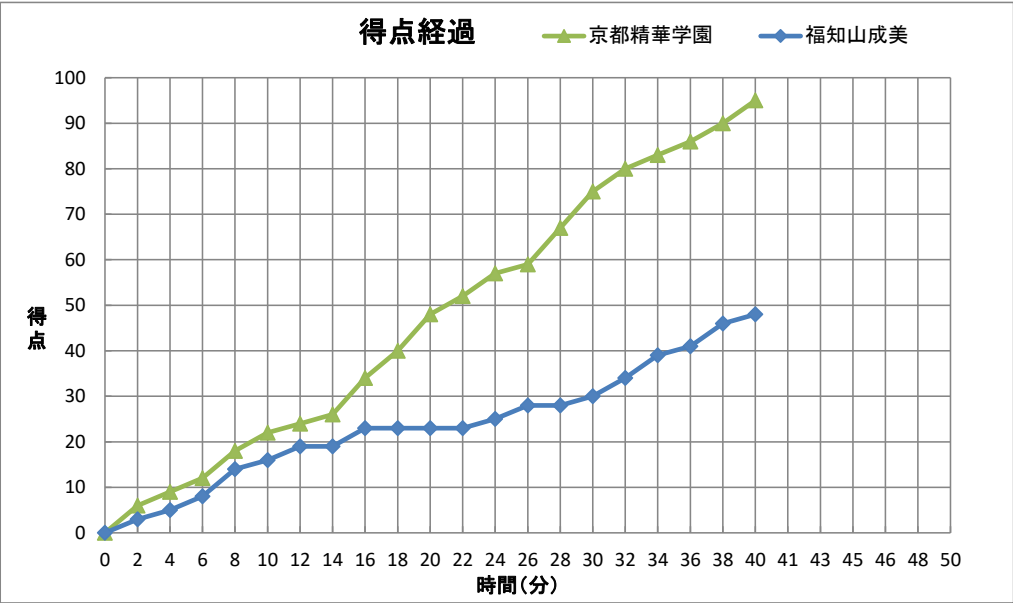




第40回京都府高等学校選手権大会 兼
第73回全国高等学校バスケットボール選手権大会京都府予選

個人トータル表

女 子							10月25日				11:00 開始			
準決勝							舞鶴文化公園体育館				A			
◎ 京都精華学園 95							<div><div>221st16</div><div>262nd7</div><div>273rd7</div><div>204th18</div></div>				48 福知山成美			
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	
* 4	荻田 美	14	2	4	0	0	* 4	芦田 佳菜	6	2	0	0	1	
* 5	柴田 柚菜	10	0	5	0	2	* 5	黒河 真帆	0	0	0	0	1	
* 6	中江 美友	16	3	3	1	1	* 6	松岡 愛里	17	3	4	0	1	
7	山下 このは	6	0	3	0	0	* 7	小倉 来優	5	1	1	0	1	
8	渡邊 香玖耶	0	0	0	0	0	8	永井 葉月	-	-	-	-	-	
* 9	瀬川 心暖	7	1	2	0	0	9	新 陽菜乃	-	-	-	-	-	
10	植村 文音	0	0	0	0	0	10	西垣 菖	-	-	-	-	-	
11	高井 月	3	1	0	0	0	11	一色 祥	-	-	-	-	-	
12	白石 ちさと	6	2	0	0	2	12	福林 愛夏	-	-	-	-	-	
13	山崎 玲音	0	0	0	0	0	13	松田 彩花	2	0	1	0	1	
14	柴田 柑菜	0	0	0	0	0	* 14	エマニエル ラブソー ラブリン	18	0	7	4	4	
* 15	トラオレ セトゥ	9	0	4	1	2	15	金林 比奈乃	0	0	0	0	1	
16	大森 心寧	0	0	0	0	0	16	西村 冴香	-	-	-	-	-	
17	宮武 亜衣	0	0	0	0	0	17	船曳 音羽	-	-	-	-	-	
18	イソジェ ウチェ	24	0	12	0	1	18	荻野 愛香	-	-	-	-	-	
コーチ	中川 瀬名					0	コーチ	伊藤 久					0	
Aコーチ	山本 綱義						Aコーチ	高見 義和						
合 計		95	9	33	2	8	合 計		48	6	13	4	10	
主審: 小出 聡子														
副審: 中村 公彦														
副審: 片山 雄一郎														



CTO	1・2P		3・4P			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	:	:	:	:	:	:	:	:	:
TeamB	14:47	15:49	37:35	:	:	:	:	:	:

〔 戦 評 〕

ウィンターカップ京都府予選女子準決勝 京都精華学園対福知山成美 連覇を狙う京都精華学園とシート校に勝ち上がってきた福知山成美の対戦。

第1ピリオド京都精華#4、#5、#6、#9、#15 福知山成美#4、#5、#6、#7、#14で試合開始。京都精華ハーフコートマンツーマン、福知山成美3-2ゾーン、京都精華#6、福知山成美#6のともに3Pで試合が始まる、5分間はお互い探り合いの中、9-8で精華がリード、残り2分44秒福知山成美#14フリースローを2本決めて14-12、その後京都精華#18のゴール下シュート、速攻で加点、終了間際に福知山成美#14のJSが決まり22-16で京都精華リードで終了。

第2ピリオド両チーム#6の3Pで始まる。福知山成美ハーフコート1-1-3ゾーンにチェンジ、京都精華#15JS#9速攻が決まり残り5分13秒で28-19京都精華リード、ここで福知山成美1回目のタイムアウト。相手ミスから京都精華#4速攻で加点、34-21ここで福知山成美2回目のタイムアウト。その後京都精華は相手ゾーンに対してうまく対応し始める。残り3分京都精華#18の速攻が決まり38-23と京都精華リード。福知山成美は#14にボールを集めたいが、うまくつながらない。京都精華は落ち着いてリバンドから速攻を着実に決めて前半を48-23京都精華でリード終了。

第3ピリオド京都精華#4JS、#6レイアップシュートで始まる。京都精華は相手ゾーンに対してインサイドアウトをうまく振り分けて対応、一方福知山成美は相手マンツーマンに対してミスが目立ち始める。残り5分福知山成美#4の3Pを決める59-28、ここで福知山成美3回目のタイムアウト、ここで福知山成美マンツーマンにチェンジ、残り3分京都精華#6カウントワンショットで決め65-28、リズムを掴んだ京都精華は着実に加点し75-30で終了。

第4ピリオド福知山成美#14ゴール下シュートから始まる。残り8分京都精華は5人交代、福知山成美オールコートマンツーマンプレスにチェンジ、スチールするも得点になかなかつながらない、残り7分福知山成美#13レイアップシュートが決まり、80-36で京都精華リード、京都精華もオールコートマンツーマンにチェンジ、残り5分福知山成美#7、#14が連続加点、3分福知山成美#6が3Pを決め、86-44、残り2分25秒、福知山成美4回目のタイムアウト。90-44京都精華リード。福知山成美最後の反撃をみせ動きの早い展開で頑張りを見せる。95-48で京都精華の勝利で試合終了。

出だしリズムが取りきれない京都精華であったが、身長も上回り、シュート・ディフェンス共に勝った京都精華に対し、ディフェンスを変化させながら、果敢にリングに向かい最後まで頑張りを着せた福知山成美。また京都高校女子として留学生同士のゴール下の高さのある戦いは見ごたえのある試合であった。下級生の留学生なので来年も楽しみな戦いとなることを期待する。